



山梨県立

甲府西高等学校



国際バカロレア認定校

所在地 〒400—0064 甲府市下飯田四丁目1—1

電話 055—228—5161

FAX 055—228—5164

URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

創立 明治35年5月1日

課程 全日制

利用交通機関 JR甲府駅から自転車で15分又は山交バスで十五所行きなどで貢川バス停下車し徒歩10分

教員数 48名

生徒数 635名

学科名	1年次		2年次		3年次	
	男	女	男	女	男	女
普通科	95	111	99	110	109	111



自己を知り 自己を深める

甲府西高の校訓です。自主・自律の精神のもと、自己の将来への夢や希望を叶えようと、学習意欲旺盛で高校生活に高い目的意識を持った生徒が、県下各地から西高に集まっています。

また、勉強だけでなく、部活動や生徒会活動にも一生懸命に取り組み、自分の可能性を見だし、幅広い人間性を身に付けようとする生徒が多い学校でもあります。

過去の自分・現在の自分を見つめながら、個性豊かな仲間とふれ合う中で、新しい自分を発見してみてください。西高はそんな生徒を応援していきます。

多様な進路選択に応える科目とフラットなクラス編成

生徒の能力・適性・興味関心・進路希望などに応えられるように科目を開講しています。クラスは習熟度別ではなく、全年次でフラットな編成を行っています。どのクラスでも、高い志を持った仲間と切磋琢磨し合いながら高校生活を送ることができます。2年次、3年次になると多くの授業が自分で選択した科目の学習になります。各科目とも自分の到達度に合った内容を、学習できるよう配慮されています。

◎国際バカロレア (IB) のディプロマプログラム

国際バカロレア認定校として、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献できる人材の育成に努めています。これまで大学進学等で実績を上げてきた本校の教育の強みはそのままに、IB科目の学習スキルを生かして、探究的で国際的な視野に立った学習プログラムを展開しています。生徒の興味関心に応じて、「すべてのIB科目を選択してIB資格取得を目指す」「一部のIB科目を選択履修する」「IB科目を選択せず一般科目のみを履修する」のすべてが可能となっています。

県下唯一の65分授業

本校は、授業第一、学校第一主義を掲げて65分授業を行っています。65分の授業を行うことで、

- ① 総授業時数が増えます。50分授業と比べて、週に110分、1年間で64時間授業時間が増えています。
- ② 授業の質が高まります。じっくりと課題に取り組んだり発展的内容を取り入れたりするなど、授業に新たな工夫ができるようになっていきます。
- ③ 部活動の時間が確保されます。終業時刻が早くなり、放課後の課外講座や部活動がゆとりを持って行えるようになります。毎日部活動が活発に行われています。

例年行っているアンケートでは、ほとんどの生徒が65分授業を“良い”と答えています。

土曜講座で学力向上

土曜日の午前中に、生徒の学習や学問への興味関心を高めさせ、学力向上を図るために「土曜講座」を実施しています。授業内容の定着・強化のための補習的な講座のほか、より発展的な内容を扱う講座、入試対策講座などが開講されます。

年間10回程度を計画しており、各年次の講座時間割表に基づいて実施します。主な講座は次の通りです。

1年次・・・数学、英語、国語

2年次・・・文系数学、理系数学、英語、現代文、古典、地理、物理、化学、生物など

3年次・・・日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、共通テスト対策講座、難関大対策ハイレベル講座、小論文講座など

1、2年次共通講座

・・・体験的講座など



進路指導と合格状況

《現役で第一志望大学合格》を目標に

「授業第一」「学校第一」を基軸とし、校内で行われる授業・課外・学習会にしっかり取り組むことにより「現役で第一志望大学に合格」ができる実力がつくよう指導しています。

「65分授業」の利点を生かした学習と適切な課題などにより基礎学力と学習習慣の定着を図っています。また、講演会・進路ガイダンス等を通して将来をしっかりと考えさせる中で学習に対する目的意識を高めています。

その上で、生徒の実態に合わせた校内課外・夏季集中学習会・特別課外等各種学習会も実施し、基礎学力の向上と応用力の養成を図っています。

《部活動と学業・進学の両立》を目標に

「部活動と学業・進学の両立ができる学校」を実現するために、各種課外・学習会等は部活動を考慮した日程・時間設定としており、生徒が学習と部活動の両立ができる体制になっています。

《Nセミナー》を設置

「Nセミナー」では、難関大学進学を目指す生徒、向学心旺盛な生徒に対して、少数精鋭で手厚く学習支援を行っています。発展的な内容の講座や個別の添削指導、大学や研究機関の施設見学などを通して、学力の向上と探究心にあふれた学習者の育成を図っています。

【令和3年3月卒業生（単位制22期生）合格状況】

現役生233名[6クラス]（ ）内は人数

<国公立大> 136名

北海道大(1)、秋田大(1)、東北大(6)、宇都宮大(1)、群馬大(1)、茨城大(1)、筑波大(1)、埼玉大(1)、電気通信大(1)、東京学芸大(2)、東京外大(1)、東京農工大(1)、横浜国立大(4)、新潟大(1)、信州大(13)、山梨大(40)、静岡大(5)、富山大(2)、愛知教育大(1)、名古屋大(1)、大阪大(1)、岩手県立大(1)、群馬健康科学大(1)、高崎経済大(1)、東京都立大(9)、横浜市立大(8)、新潟県立大(1)、諏訪東京理科大(2)、長野県立大(2)、長野大(2)、都留文科大(4)、山梨県立大(11)、静岡県立大(1)、静岡文化芸大(3)、富山県立大(1)、愛知県立大(1)、福知山公立大(1)、尾道市立大(1)

<私立大学> 368名

青山学院大(2)、亜細亜大(3)、大妻女子大(4)、学習院大(1)、北里大(10)、共立女子大(4)、工学院大(10)、国学院大(1)、駒澤大(13)、実践女子大(11)、芝浦工大(7)、順天堂大(6)、上智大(2)、昭和女子大(2)、昭和薬科大(2)、成蹊大(2)、専修大(7)、大東文化大(3)、拓殖大(2)、玉川大(2)、多摩美大(1)、中央大(14)、津田塾大(3)、帝京大(2)、東海大(7)、東京家政大(3)、東京女子大(3)、東京都市大(1)、東京農業大(2)、東京薬科大(2)、東京理科大(4)、東洋大(16)、日本大(21)、日本女子大(3)、日本体育大(3)、法政大(14)、武蔵大(2)、武蔵野大(5)、明治大(10)、明治学院大(5)、明星大(4)、立教大(3)、早稲田大(3)、女子栄養大(3)、獨協大(2)、文教大(4)、千葉工大(4)、神奈川大(17)、山梨学院大(19)、中京大(5)、立命館大(7)、近畿大(5)等

<短期大学> 4名

<各種専修学校> 7名

完全燃焼の鳳凰祭

生徒は、6月に行われる鳳凰祭を通して甲府西高の素晴らしさを実感しています。西高生の誇りでもあり、鳳凰祭の象徴とも言える巨大モニュメントは、牛乳やジュースのパックを使用して作成しています。

1日目に県民文化ホールで行われる3年次対抗では、ミュージカルやパフォーマンスの発表があり、レベルも高く見応えがあります。また、2年次ダンス、吹奏楽部、音楽部、箏曲部、演劇部、ダンス部の発表も充実しています。2日目には校内で1年次のクラス展示、模擬店、パフォーマンス大会などが行われ、生徒全員が完全燃焼します。



活発な部活動

本校では、部活動に参加しなければ本当の高校生活を味わえないという思いを、多くの生徒が持っています。現在、兼部も含めると部活動に参加する生徒は延べで100%を超えます。「西高生は忙しい」と、生徒は誇らしげに口にします。学業にも励む中で、限られた時間を有効に使って、青春を謳歌しています。

一昨年度は、体操部・囲碁将棋部・放送部・新聞部が全国大会に、陸上部・男子バスケットボール部・体操部・卓球部・水泳部・文芸部が関東大会に出場しました。

【体育局】

陸上部・ソフトテニス部・テニス部・野球部・スキー部・サッカー部・ハンドボール部・バレーボール部・バスケットボール部・バドミントン部・体操部・卓球部・弓道部・柔道部・剣道部・山岳部・水泳部

【文化局】

演劇部・書道部・美術部・写真部・イラスト部・吹奏楽部・音楽部・茶道部・自然科学部・箏曲部・ダンス部・囲碁将棋部・文芸部・放送部・新聞部・E

